

国際ロータリー第2530地区東北第一分區



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺通65-2 2F 3F・メイフアイビル2F20号
Tel:024-648-3703 Fax:024-648-7878
総合室/〒960-8101 福島市上田4-30
Tel:024-629-3811(Fax) Fax:024-629-0375
HPアドレス http://www.hokkai.jp/rotary/index.html

●会長 黒羽 好夫 ●副会長 菅原 節子
●会務部長 金子 義明 ●新入会員部長 本光 一 ●総務部長 長尾 丹治 ●青年 丹治 洋子 ●副委員長



2010年-2011年Rテーマ

第10回例会	平成22年9月15日(水) サンパレス福島
	■メークアップ/33名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/34名 ■出席率/50.75%
本日のプログラム	
1 開会点鐘	7 お食事をどうぞ
2 ロータリーソング 我らの生業	8 新世代委員会スピーチ
3 四つのテスト	9 財団セミナー報告
4 来訪者紹介と会長挨拶	10 新会員スピーチ
5 福島ユナイテッドFCより御案内	11 各委員会報告
6 米山奨学生 奨学金授与	12 閉会点鐘
今月・来月のプログラム	
10月6日(水) 大橋ガバナー公式訪問	10月17日(日) 2530地区大会 パルセ飯坂
10月15日(金) 移動例会 パルセ飯坂	10月20日(水) 振替休日
	10月27日(水) 移動例会 ハッピーケア職場訪問

◆会長挨拶◆

黒羽 好夫 会長

先週も数々の地区内行事がありました、そのご紹介から始めます。

9月11日は、伊達西RCの創立15周年記念式典が福島グリーンパレスで開催され、地区内から約100名の出席があり、盛大に行われました伊達西RCは、設立時は27名でスタートしましたが現在会員数が12名と少なくなっております。

事業内容を見ますと、地区に密着した地域のための奉仕活動をしっかり行っているクラブです。

米山記念奨学会への基金は、一人当たりになりますと41,000円と地区内のトップであります。阿部会長は、大きなことは出来ませんが、地域にあった奉仕活動を今後も続けていきたいと言っております。

また、12日は猪苗代清掃の予定でしたが雨の為に中止となりました。

青少年会館ではロータリー財団セミナーが行われ地区内から約140名が参加し、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス等の財団プログラムについての勉強を致しました。



詳しくは、菅原節子財団委員長から後ほど報告を頂きます。

今後、地区補助金等について研究し、補助金対象になれば、地域奉仕もより大きく出来る事になりますので活用できるよう検討していきたいと存じます。

本日は、新会員になられた、太田久雄会員、佐藤勝宣会員の2名の方に、新会員スピーチを、お願いしておりますので宜しくお願い致します。

また、9月29日の例会は、新会員歓迎になっておりますので、皆様の出席と、お二人への激励を、お願い致します。

10月6日は、大橋廣治ガバナーの公式訪問です。全員の出席を、お願い致します。

◆福島ユナイテッドFC◆ 横田 篤 様

福島ユナイテッドFCは、現在東北社会人サッカーリーグ一部所属で、現在リーグ戦で単独首位の成績です。

クラブが目指すもの、スポーツでもっと幸せな福島へ、子供たちがスポーツを通じて夢を持ち、福島に誇りを持てる環境作りを目指し、Jリーグ昇格は、その手段のひとつです。

子供たちのサッカー普及、育成へも力をいれ、現在ジュニアチーム(中学生)、ジュニアチーム(小学



生)を保有、毎週、福島市内を中心に、南相馬や会津若松など県内各地でサッカースクールを実施し、中学生チーム、小学生チーム、スクール生を全部合わせますと約300名の子供たちが、福島ユナイテッドFCの名の下で活躍中です。

皆様への支援のお願い、年会費1,000円からのサポーター会員への入会もお願い致します。お問合せは、広報担当 高橋 遼 080-3197-9874

◆新世代委員会◆ 本田 光男 委員長

新世代・インターアクト委員会委員長の本田です。9月は、「新世代のための月間」です。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。



ロータリーは従来から「奉仕の理想」を成人しかもすでに地域社会で活躍している人たちを対象として普及に努めまいりましたが、それでは遅すぎるといことで、これから伸びる我々の後継者に、若い時から奉仕に関心を持ってもらえれば、より良い社会を作る為に一層役立つという目的で組織されたのが新世代部門であります。

青少年交換・ライラ・インターアクト・ローターアクトの四つが新世代の為にRI構成プログラムとなっております。

ライラはRC少年指導者養成プログラムの略で、14歳～30歳の若者が集まりリーダーシップスキルと人格を養いながら、RCについて学ぶ集中研修プログラムです。

ローターアクトの目的は、青少年男女が個々の能力開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における生活の或いは、社会的な必要と取組、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を促進する為の機会を提供するものであります。

次にインターアクトは、クラブ入会の資格は、14歳～18歳までが対象で、中高一貫教育を取れている学校は12歳からでも可能です。日本で一番目の中学校のIACが福島県で誕生しました。「喜多方第一中学校」です。

当クラブでも福島成蹊高校のIACを支援しており、現在IAC部員が28名です。

活動は、月一回の例会で年間8～9回実施しております。昨年度まで16時から開始でしたが今年から成蹊高校の1階の実習室で、16時30分となりましたので出席RC会員の方は注意下さい。

例会は、月1回ということもあり不慣れな点も多いようですが生徒は真剣にロータリアンのスピーチを聞いております。皆さんも成蹊高校IAC例会に出席をお願いします。以上スピーチを終了します。

◆財団セミナー報告

菅原 節子 委員長

去る、9月12日13時より、福島県青少年会館において地



区「RC財団セミナー」が開催されました。廣澤俊樹地区副幹事の挨拶に始まり、大橋ガバナーの挨拶、RC財団の内藤健二委員長から現況の報告が行われました。

- ① 年次寄付・恒久基金委員長 大竹 進 氏 「年次寄付・恒久基金・ボラリス寄付について」
 - ② 補助金委員長 小針 藤助 氏 「地区補助金・マッチング・グラウンドについて」「シェアシステム、DDFの配分について」
 - ③ 学友会・奨学金委員長 久米 彦彦 氏 「国際親善奨学生募集・財団学友会について」「ロータ平和フェロウシップについて」
- 3氏からお話があり、そのあと基調講演が2回ありました。
- I 山崎栄一氏より「恒久基金の重要性について」
 - II 皆川 清 氏より「マッチング・グラウンド、地区補助金の有効活用について」

最後に、いわき分区分のガバナー補佐 渡邊公平氏より好評があり、内藤委員長の閉会挨拶で無事終了致しました。

◆新入会員スピーチ◆ 太田 久雄 会員



伊達郡国見町出身です。昭和25年生れ・趣味は、野球 今年3月まで県職員勤め、4月から日赤東支部勤務となり「人間を救うのは人間」「人間の生命・健康・尊厳を守る」人道・博愛の精神で活動を行っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◆新入会員スピーチ◆ 佐藤 勝宣 会員



伊達郡国見町出身です。昭和35年生れ・昭和59年4月東邦銀行入行し26年勤務、今年7月に会津若松の滝沢支店より南福島支店に転勤となり現在に至る。銀行員として、地元のお客様に支えられている事を実感しておりますので何卒宜しくお願い致します。

◆米山奨学金授与



唐 娜拉さんへ授与

◆スマイリングボックス・財団◆

スマイル 29,000円 累計 396,701円
財団・米山 40,000円 累計 426,000円

～私の職業の目的～ 伊藤 弘子 会員

衣・食・住の住まいに関するすべてのこと・・・お任せ下さい。快適な暮らしのお手伝い、させていただきます

一編集後記一

私事で遅れてすみませんでした。(鈴木)